



## 入居企業の近況報告

ものづくりインキュベーションセンターの5号室に入居している福島三洋プラスチック工業株式会社では、バイオマスプラスチックを活用した製品開発を行っており、当機構でも新用途展開(ノベルティグッズ)等の支援を行っています。

バイオマスプラスチックとは、植物などの再生可能な有機資源を原料とするプラスチック材料をいい、微生物などの働きにより分解される「生分解性プラスチック」とあわせて、バイオプラスチックと総称されることもあります。

化石資源由来の従来のプラスチック材料と比較して、成長過程での光合成により大気中の二酸化炭素を吸収する植物を使用するため、排出(燃焼)しても二酸化炭素のオフセットが実現、地球温暖化の防止や化石資源への依存度低減にも貢献することが期待されています。

その取り組みの一部をご紹介します。

当機構の支援により郡山市の開成山大神宮との連携が実現し、境内にある樹木の枝葉を材料の一部に使用した「しおり御守り」が製品化されました。昨年暮れに納めることができ、初詣では多くの参拝客にお求めいただいたとのことでした。

一般的なプラスチックと異なり、この「しおり御守り」はお焚き上げを行うことができることから、御守りとしての魅力を高めるポイントにもなっています。

絵柄の印刷は神田産業株式会社(須賀川市)が行うなど、テクノポリス圏域・県内各地の企業の協力により製品化されたことも、地域企業・経済活性化に貢献する製品となっています。



しおり御守り



ノベルティ例

## 特別講演会「AIと共に生きる未来～ビジネスはここまで変わる～」開催報告

2月18日(水)、郡山テクノポリス地域戦略的アライアンス形成会議では、郡山高度情報化システム研究会、郡山地域テクノポリス推進協議会との共催によりデジタル変革(DX)特別講演会を開催しました。

講師には、電気通信大学副学長の坂本 真樹氏を招き、「AIと共に生きる未来～ビジネスはここまで変わる～」をテーマに、近年急速に進化を遂げているAIの進化と現状をふまえ、坂本氏が研究してきた言葉と感性の結びつき・感性AIに関することから、AIがこれからの社会や産業のなかでどのように活用されていくのか、また、未来ではAIやロボットとどのように共生していくのか、未来に向けてワクワクする内容をお話いただきました。

講演会終了後の交流会では、参加者がリラックスした雰囲気の中で交流を深め、新たな取引に向けた機会を探る場となりました。

また、講演会の前には、アライアンス形成会議の第三回役員会を開催し、これまでの活動実績を報告するとともに、来年度の活動に関して、委員から様々な意見が寄せられました。

今回の講演会・交流会が、今後の皆様のビジネスに役立ち、新たな動きが生まれてくることを期待しています。



# ものづくりインキュベーションセンター入居者審査委員会 開催報告

1月30日(金)にインキュベーションセンター会議室において、入居者審査委員会を実施しました。入居延長申込み3社について、各申請者が事業計画を発表した後に審査員からの質疑を受けました。

厳正なる審査の結果、下記のとおり入居が決定しました。

	No.	企業名・代表者名	研究開発内容	入居期間
延長	1	株式会社ハンドレッドメディカル 代表取締役 栢本 直行	実験動物用福祉配慮型器具の開発・製造	令和8年3月1日～令和9年2月28日
	7	株式会社朝日FR研究所 代表取締役社長 大槻 尚文	医療機器向け表面改質処理剤の合成と評価	令和8年3月1日～令和9年2月28日
	11	一般社団法人 地域おこし協力隊活動推進協会 代表理事 佐藤 恵美	地域特産品を利用した6次化商品の開発	令和8年4月1日～令和9年3月31日

## 福島県産業支援機関ネットワーク会議(企業連携人材育成事業:福島県委託) 第4回ワークショップ開催報告

第4回ワークショップでは、前回のワークショップで発表のあった6件の課題に対して16件の連携推薦があり、それらについての進捗状況報告が行われました。併せて、今年度からスタートした企業連携プラン作成の進捗状況、さらにこれまでの活動を踏まえての課題と改善・要望等について各支援機関から発表が行われました。

◆第4回ワークショップ(令和8年1月29日(木) Web開催)

◆参加者30名

(県2、支援機関6、自治体6、アドバイザー機関7、事務局9)

◆内容 ①前回ワークショップを受けてのマッチング状況報告

②企業連携プラン作成の進捗状況報告

③広域連携での課題と今後の方向性の調査・提案

【事業スキーム】



## こおりやま広域圏「産学金官連携タイ販路開拓事業」成果報告会

こおりやま広域圏内企業の海外販路拡大を支援する事業として郡山市が主催した「産学金官連携タイ販路開拓事業」に、ものづくりインキュベーションセンター起業支援室1号室に入居している株式会社ハンドレッドメディカル(代表取締役 栢本直行 氏)が参加しました。

同社は本事業を通じて、昨年9月にタイ王国で開催された「メディカルフェアタイランド」へ出展したほか、国立マヒドン大学での製品評価及び意見交換、現地バイヤーとの商談等の機会を得て、同社の動物実験用器具のタイ向けの販路拡大の足掛かりとなる機会を得ることができました。

2月16日(月)には郡山市役所において帰国報告会が開催され、椎根 健雄 郡山市長へ実施結果が報告されました。

※本事業には、医療福祉2社(ハンドレッドメディカル含む)、健康食品12社が参加し、報告会当日は(株)コスモテック、(株)小田原屋、(株)郡山製餡、鈴木醤油店、樺園芸(株)も参加しています。

報告会では各社代表者より報告が行われ、栢本氏からは、本事業に参加したことで現地の大学やバイヤーとの直接交流ができたことで今後の製品開発や販路開拓に実りの多いものとなったこと、従来の販路(主に欧州や米国)以外に新たにチャレンジできたことに対する前向きなメッセージをお話しされていました。

その他、栢本氏を含む6名の報告者からは、「タイの多くの人々に製品を知ってもらうことができた」「現地製品との差別化のポイントを肌で感じる事ができた」「世界情勢の変化をふまえ、タイ以外の国・地域でもチャレンジできる機会があるとありがたい」等、現地での活動を通じて得られた意見が多く寄せられていました。

